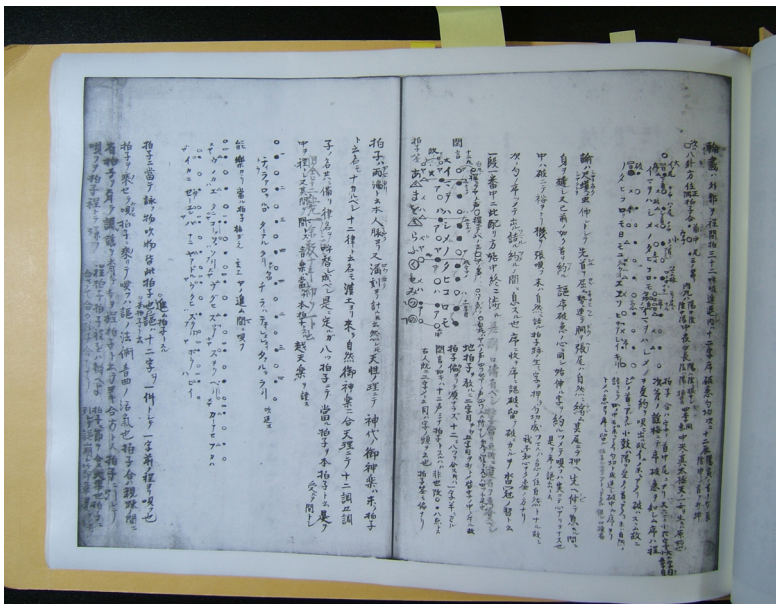
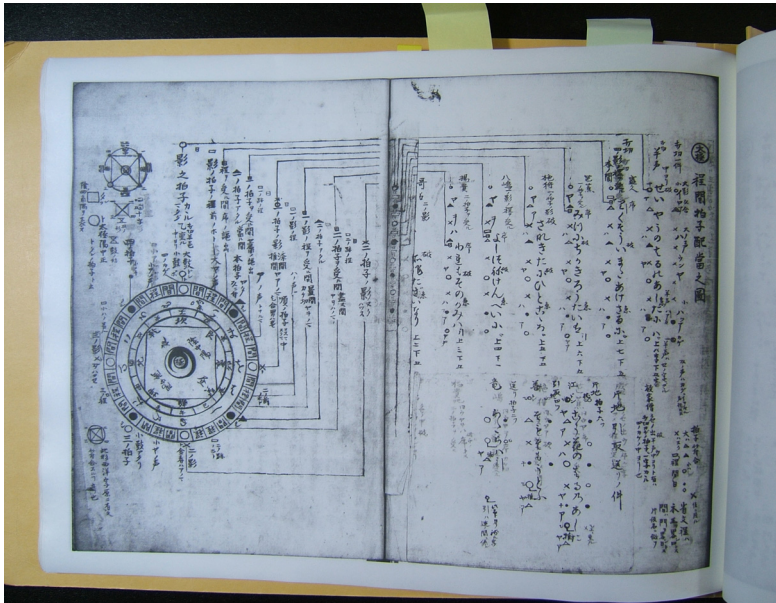


久枝茂喬 『素謡要略』

拍子の組織を陰陽に照らしつつ、「程」「影」「間」等の用語を使って解説。七五の当たりは、近古式ではなく、現代式に近い位置に示されている。「地拍子ヲ教ルニ二字目ヲ打五字目ヲ打トメ、皆字ノ中ニ付ル故、拍子偏ヨリテ順ナラズ」と述べ、『拍子筈』（6頁）等に表示される近古式の当たり方が当代の実際に歌い方（あるいは規範？）とは、ずれてしまっていることを、指摘している。



標題 内題…素謡要略 乾之上、坤

標題紙…

奥附…

その他…素謡要略（目次・題簽）、素謡要

略 乾坤（帙題簽）、福王秘書 素

謡要略 乾坤合冊（帙題簽）

著者 奥附…

その他の場所…久枝茂喬（大旨）

出版 版次…

出版地…

出版社…

出版年…

その他の場所…大旨 天保15（1844）

形態 冊数…一冊 頁数…

寸法…

状態 写本版本の別…写本 現物複写の別…複写

備考 法政大学能楽研究所鴻山文庫所蔵。国文学研究資料館フィルム複写。